

西神ニュータウン研究会 会報

第233号 2023年12月

■第233回例会記録

- ・日時 2023年11月15日(水) 18:00~20:00
- ・場所 ユニティ特別会議室
- ・テーマ 「街の活動に参加」 経験交流(意見交換会)
- ・司会 大塚映二(西神ニュータウン研究会世話人)

■開催趣旨：毎月の例会でゲストや講師を呼んできて講演してもらうのもよいが、たまには会員同士で自由に意見交換する例会もあったらいいと思うという総会時の提案を踏まえ、今回の開催となった。

司会から、「街の活動に参加」する様々な場面について、パワーポイントを使って紹介したのち、参加者全員で活動の経験や思いを出し合った。

■街の活動に参加の事例

・町内会、自治会

以前はほぼ100%の加入率だったが、いまは加入しない世帯が増加しつつある。

市区町村アンケートにおいて、平成22年度から令和2年度まで毎年度の自治会等の加入率を世帯単位で把握している600市区町村における自治会等の加入率の平均(単純平均)の推移は、平成22年に78.0%であったのが、令和2年では71.7%となっており、6.3ポイントの低下となっている。

・管理組合

分譲マンションでは区分所有者は必然的に組合員。高齢化などのため、役員のなり手がいない。活動にはまる人は、はまる傾向もみられる。

マンションの三重苦=①高齢化、②老朽化、③賃貸化

・清掃活動、ゴミ拾い、草むしり、溝掃除
町内会・自治会ごとにやったり、個人的なボランティアだったり。掃除そのものそっこのけで、井戸端会議になるケースが多い。黙々タイプの男も。

- ・安全パトロール
「お役に立っています」という自己肯定感が高まる。
- ・子どもの見守り
登下校時。犬の散歩しながらさりげなく。
- ・高齢者の見守り



・生涯学習講座の受講

知的好奇心を満たす。脳を鍛える。

・自主研究

興味が持てれば何だって研究対象。童心に返って、「朝顔の観察」なども

・料理教室

自立と健康のため。参加者との交流



・お助け隊(お困りごとサポート)

「あなたのお役に立ちたい」
隠れた特技を披露できる

・地域NPO

お金になることだって堂々とやろう。



■意見交換

- ・当研究会に出席している目的の一つに、地域ボランティアの講師を探している。小学生、中学生向けのプログラミング講座の講師をやってほしい。
- ・できれば若い人に入ってほしい。高齢者はただで働いてくれる。先生のお手伝い、見守りだけでもいい。
- ・「おやじの会」というグループ活動をしている。子どもと会うのは新鮮。子どもの活動がきっかけでいろん

なことに参加するようになった。

- きっかけは「誘われたのでしゃあないなあ」というところもあったが、今は楽しければよいと思うようになった。
- 地域活動に参加していると、いろんな情報が入ってくる。
- 子どもの講座でも「情報」や「英語」はビジネスとして入ってきている。
- 習い事のランキング、コンピュータは18位で、あまり人気がない。上位は学習塾などだ。
- ボランティアが今はビジネスチャンスでもある。
- 男は（女性に比べて）行動に移せない人が多い。
- 「居場所」をどうみつけるかがキーだと思う。
- 奥様をなくすと寂しい男が増えている。思い切って声かけをする。
- ふれあいのまちづくり協議会（地域福祉センター）とは違うタイプの地域活動も出てきている。
- ニュータウンの地域活動は、案外男が入りやすいのでは。
- 管理組合活動の中から、マンション住民に呼びかけて、ゴルフ会を結成。ゴルフをやめると健康・体力にも影響するようだ。
- 檀谷地域の活性化を模索している。入ってみると、6つの集落あり、集落ごとに住民の意識が違い、取り組むのが難しいと感じている。
- 檀谷の魅力は、歴史がある。「講」が残っている。如意寺など文化財がある。野菜がおいしい。水がよい。
- 押部谷では、神戸市が放置していた荒れた土地を開墾。タケノコができるようになった。地域ビジネスになっている。
- ただ、ビジネスとはいっても、お金をもらいすぎると逆効果になることもある。「お金がもらえないならしない」という人もいる。
- しかし、無償ボランティアだけでは続かない。ある程度収入も必要だ。
- 地域リーダーとの信頼関係をうまく築けるかどうかがかぎだ。我々は落下傘部隊だから、着地点が必要。
- 小さなビジネスではターゲットをうまくつかむことが大切。例えば、民家カフェやランチで、小金を持っている女性陣を取り込めると成功する
- 田舎で店をやるには駐車場の確保も必要。
- 行政にやってくれというだけでは行政も動かない。こちら（住民）が先頭に立ってひっぱる構えが要る。
- 西神南に引っ越してきたばかりでまだ居場所がない。探しているところ。
地域のことを知りたい。当研究会はHPで見つけた。
- 当研究会に参加していろんな情報をキャッチしておく。いつか役に立つことがある。
- 前住んでいた所では町内会に入ったが、途中で抜けた。子どもがいないと加入する意味がないと感じた。
- 女の人はずぐ打ち解けることができる。男は何でできないのかな。。。

■まとめ（司会）

もう少しテーマ、話題を絞った方がよかったかなという反省はあるが、会員同士で活発に意見交換できて意義深かったと思う。当研究会自体が居場所の一つになっていることを実感した。今後もこのような意見交換会を年に2回程度開催したいと思います。（文責：大塚）

西神ニュータウン研究会

〒651-2103 神戸市西区学園西町1-1-1 UNITY内

TEL: 078-794-4970 FAX: 078-794-4910

<http://seishin-ntken.net>